

システムキッチン用 ガス3口コンロ

設置工事説明書

品 番	特 長
H1G631A0RFV	片面焼きグリル、全口センサー付
H1G631A0RFK	
H1G631A0RHV	
H1G631A0RHK	

■工事される方へのお願い

- この機器を安全に正しくご使用いただくために、この設置工事説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 設置工事が終わりましたら（設置工事後の点検確認）のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- 工事終了後は、この設置工事説明書と取扱説明書をいっしょにして必ずお客さまにお渡しください。

【発売元】 **サンウェーブ** 工業株式会社

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-10
TEL 03 (3518) 4311 (大代表)

【製造元】 株式会社 **ハーブ** PRO

〒554-0023
大阪市此花区春日出南3丁目2-10
TEL 06 (4804) 8600

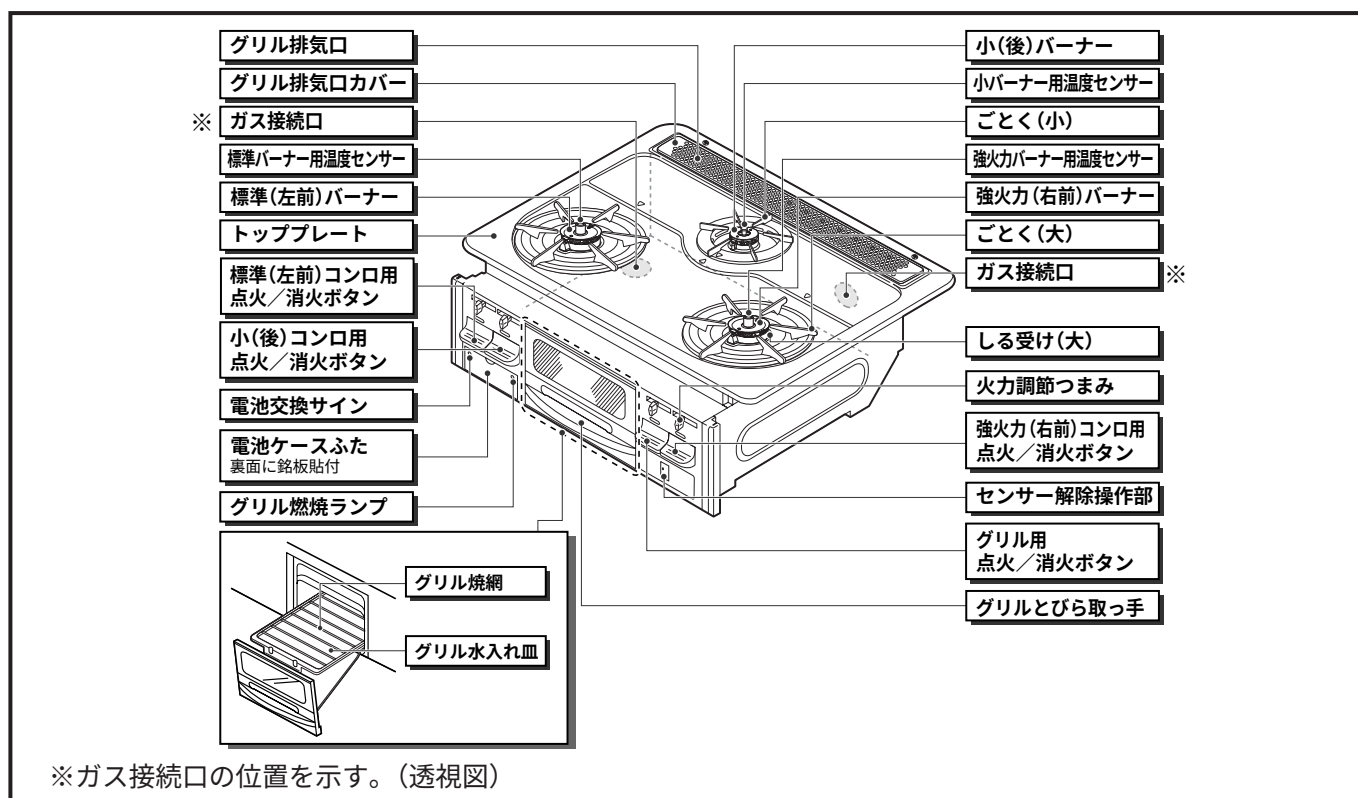
	ページ
1 各部のなまえ	2
2 開こん（同こん部品・付属品の確認）	2
3 安全に正しく使用していただくために	3
4 設置工事されるかたへ	3
5 設置前の注意	4
6 機器の設置	5～13
・ガス3口コンロ単体設置	6～9
・ガス3口コンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置	10～13
7 ガス接続・配管工事	14～15
8 設置工事後の点検確認	裏表紙
9 試運転	裏表紙
10 お客様への取扱説明	裏表紙



59217000

ケE70

1 各部のなまえ



2 開こん

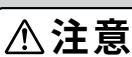
■同こん部品・付属品の確認

次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部 品 名	形 状	個数	部 品 名	形 状	個数
バーナーキャップ(大) ＜強火力バーナー用＞		1	ごとく(大) ＜強火力・標準バーナー用＞		2
バーナーキャップ(大) ＜標準バーナー用＞		1	ごとく(小) ＜小バーナー用＞		1
バーナーキャップ(小) ＜小バーナー用＞		1	しる受け(大) ＜強火力・標準バーナー用＞		2
サイドモール		2	グリル焼網		1
単1形乾電池		2	グリル排気口カバー		1
検圧口ネジ用 アルミパッキン	 (ビルトインコンロで検圧した場合の取り替え用です。 機器取付パッキンとは形状が 異なりますので注意してくだ さい。)	1	取扱説明書(保証書付) 設置工事説明書	 取扱説明書(保証書付) 設置工事説明書	各1

3 安全に正しく使用していただくために

工事を誤った場合に危害・損害の程度を、次のように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。



禁止



必ず守る

4 設置工事されるかたへ

- 設置の種類に応じて工事を行ってください。
 - (1) ビルトインコンロのみを単体で設置する場合 ⇨ 6ページ
 - (2) ビルトイン形ガスオーブンとセットで設置する場合 ⇨ 10ページ



警告

- 機器を安全にご使用いただくため、この設置工事説明書をよく読んでから、有資格者による指定された工事を行う。
- 建築基準法、当該地区の市・町・村の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)に従う。

お願い

- 乾電池を抜かずに点火/消火ボタンを **開の状態** で放置しないでください。乾電池の消耗が早くなります。
- 乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

- この設置工事説明書の記載内容をはずれた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証の対象とならないので注意してください。
- 設置工事が終わったら、この設置工事説明書に基づいて設置されていることを確認してください。

5

設置前の注意

■設置する機器の確認

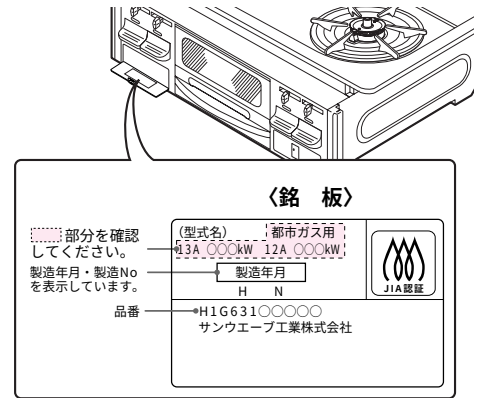
◎設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

⚠ 注意

- 銘板（電池ケースふた裏面に貼付）に表示してあるガスに適合している事を確認する。
火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや、機器が故障する原因にもなります。
- ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する。
爆発や不完全燃焼の原因になります。
- この機器は調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する。
火災・不完全燃焼・機器の故障の原因になります。



確認



■設置場所の確認

◎設置場所をお決めになるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

⚠ 注意

- 設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する。
他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 設置場所を決めるときは、お客様とよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物・可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する。
- 水平で丈夫な場所に設置し、不安定なときは補強工事を行う。
- 保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する。
設置後、トラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたします。
- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）や、業務用薬品（アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない。
- ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する。
- 棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない。
火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。
- この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置すると著しく機器の寿命が短くなります。
- コンロ下部キャビネット裏側は、外部から風などの影響を受けない構造にする。
 - ・ 右図のようにガス配管貫通部など建物構造上内気と外気がつながり、図1のような異常な空気の流れが起こるのでキャビネットに背板をもうけるか、図2のようにベニヤ板など（仕切板）により機器の後方をふさいでください。

コンロの炎がゆらいだり、消えたり異常燃焼や機器焼損のおそれがあります。

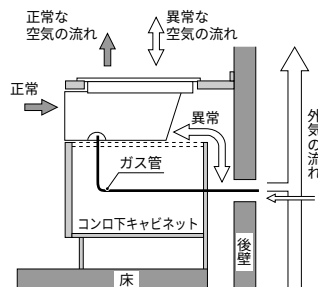


図1

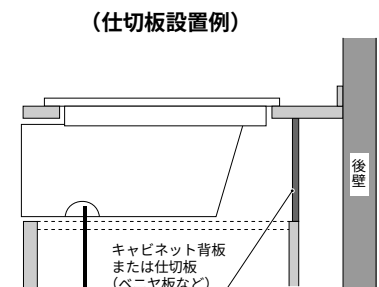


図2

- 上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。
 - ・ 冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。

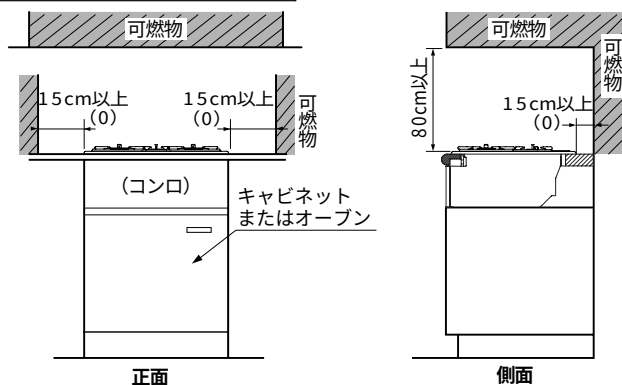
■防火上の離隔距離

○機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。

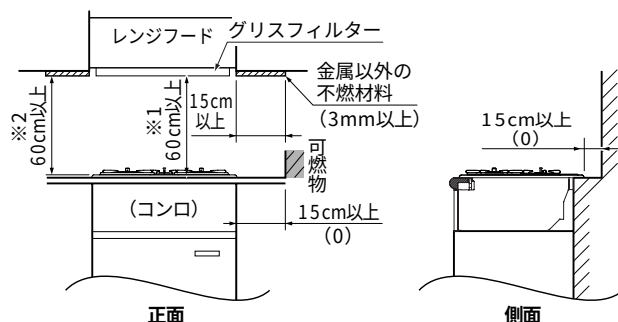
○この機器は防火性能評定品です。

※機器の周囲の可燃物（可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む）とは、下表に基づき下図の離隔距離を確保してください。

機器の周囲が可燃物の場合



レンジフードおよび不燃材の場合



ガス機器防火性能評定品			
可燃物からの離隔距離 (cm)			
上方	側方	前方	後方
80以上	15以上	15以上	15以上
上方がレンジフードファンおよび不燃材の場合 グリスフィルター			
15以上	60以上	60以上	金属以外の不燃材 (3mm以上)
15以上			15以上
財団法人 日本ガス機器検査協会			

防火性能評定シール (トッププレートに貼付)

※ () 内は、周囲の壁が不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。

※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
※2 不燃材料がない場合は80cm以上。

○上記離隔距離がとれない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。

- 防熱板は4種類用意しています。
- 用途に合った防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。

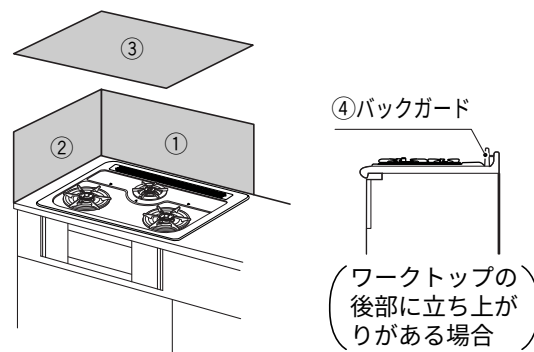
※取り付け方法は別売の防熱板に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

	コード番号	高さ(mm)	幅(mm)
①	LP0105	350	600
②	LP0106	350	535
③	LP0107	550	900
④	DP0101	90	600

※DP0101はワークトップ後部の立ち上がり用

△注意

- 防熱板（別売品）は、必ず指定のものを使用する。
 - 防熱板に同梱されている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
- 火災のおそれがあります。



※イラストはイメージ図です。

防熱板のお求めは、お買い上げの販売店または、取扱説明書に記載の修理受付ダイヤルに連絡してください。

■ワークトップおよびキャビネットについて

◎ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板 (JIS K 6903) または同等以上の材料としてください。

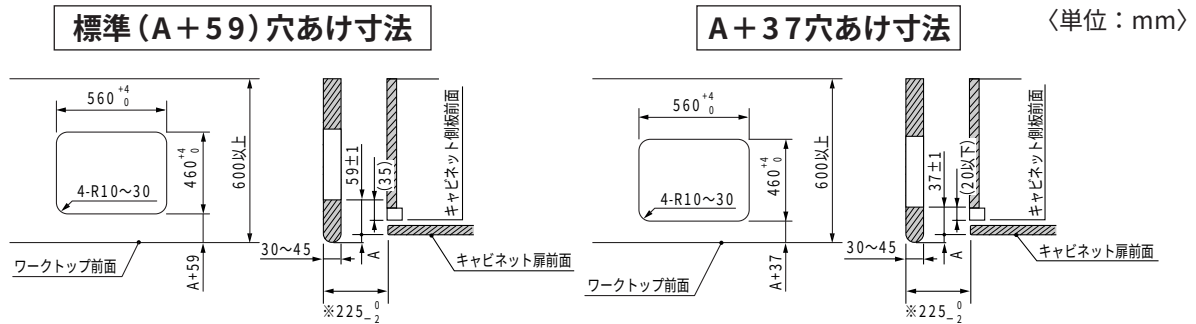
- ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。

◎機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工してください。

- 穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

⚠ 注意

- 45mmを超える厚いワークトップには設置しない。
ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。

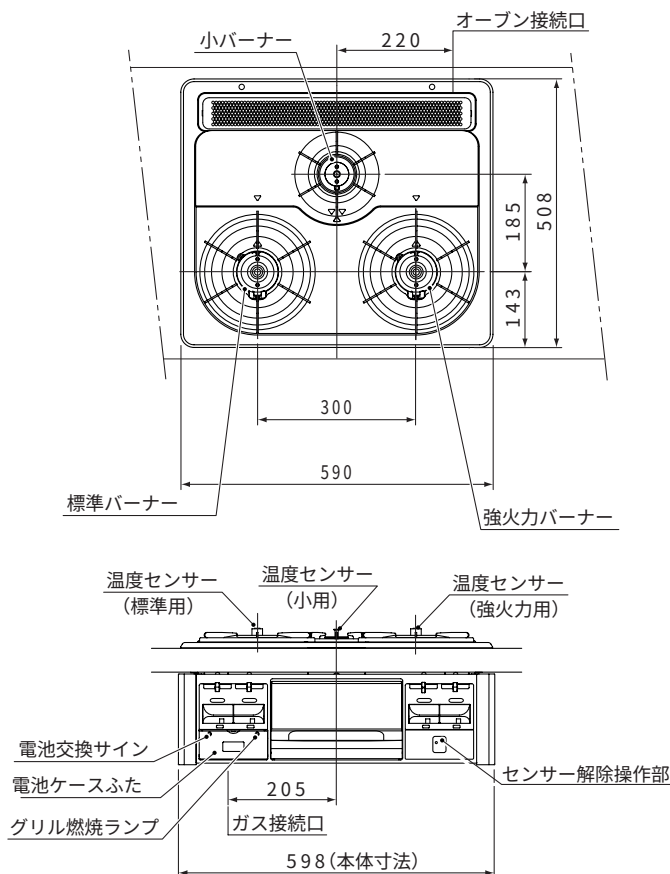


穴あけ寸法はA+59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ穴あけ寸法はA+59、(A+45) A+37のどちらでも設置できます。

■機器の取り付け

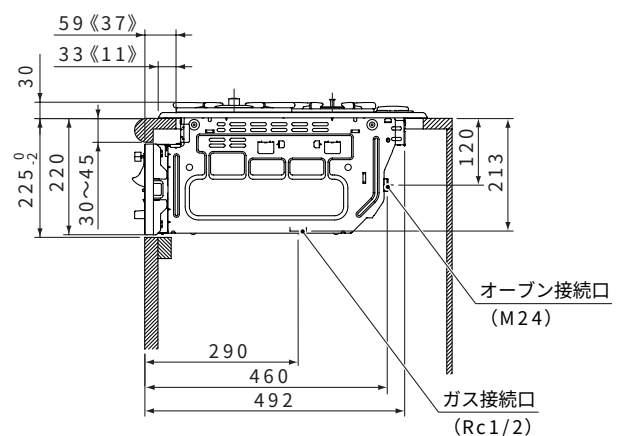
◎ガス3口コンロ単体設置

[標準設置図・機器寸法図]

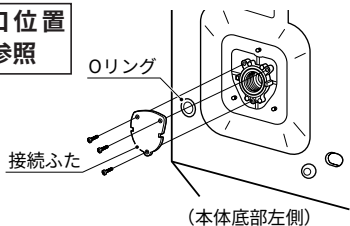
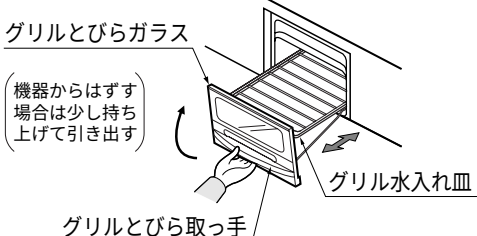
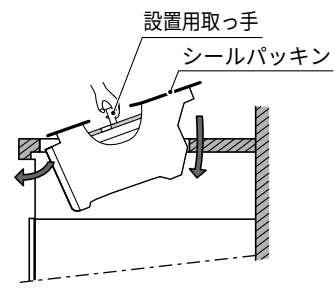
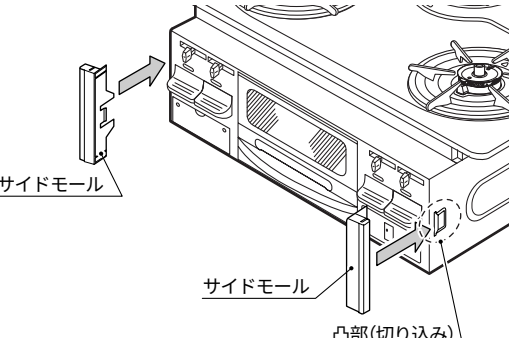
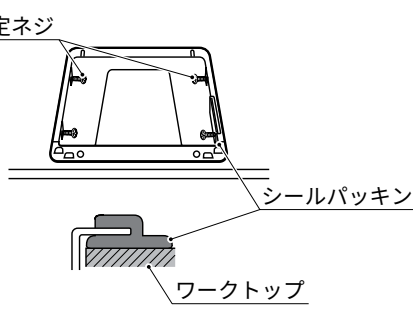


※《 》内の寸法はA+37設置寸法です。

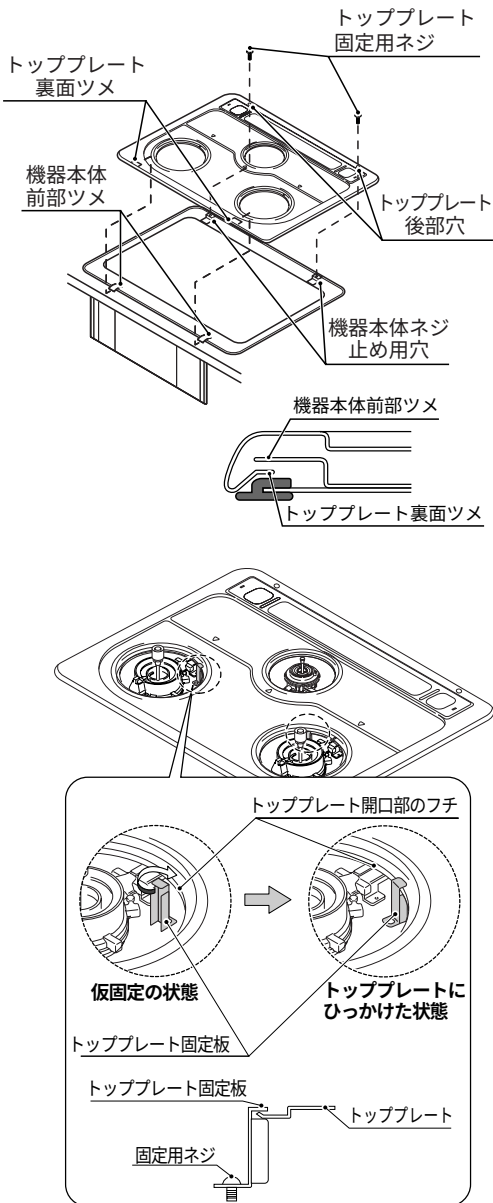
〈単位：mm〉



[機器本体の取り付け]

作 業 手 順	説 明 図
1. 機器側ガス接続口の接続ふたの取りはずし 〈配管接続が下側の場合〉 ①接続ふたの取りはずし ●機器底部左側のガス接続口に取り付けてあるガス接続口ふた（ネジ3本）とOリングを取りはずしてください。 取りはずした部品は不要です。	ガス接続口位置は2ページ参照  Oリング 接続ふた (本体底部左側)
2. グリル水入れ皿の取りはずし ●グリルとびらの取っ手を持ち、少し持ち上げながら引き出し、取りはずしてください。 ・グリル水入れ皿、グリル焼網などがはずれた場合は、取扱説明書を参照して取り付けてください。	 グリルとびらガラス (機器からはずす場合は少し持ち上げて引き出す) グリルとびら取っ手 グリル水入れ皿
3. 機器本体のはめ込み ●機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ・ガス配管やバーナーなどを持たないでください。ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 ・はめ込み時はパネルなどをキズつけないようにしてください。 ・機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取りはずさないでください。	 設置用取っ手 シールパッキン (機器内のガス配管、バーナーなどは持たないでください。)
4. サイドモールの取り付け ●サイドモールをパネル両サイドの凸部（切り込み）にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。	 サイドモール サイドモール 凸部(切り込み)
5. 機器本体の固定 ●機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ（4本）でワークトップに固定してください。 ・機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。 ・機器周囲に取り付けてあるシールパッキンがはずれたりしていないか確認してください。はずれたり、かみ込んだりしている場合は図のようにワークトップに密着するように確実に取り付けてください。	 本体固定ネジ シールパッキン ワークトップ

[部品の取り付け]

作 業 手 順	説 明 図
1. グリルとびらの取り付け ●グリルとびらの取っ手を持ち、取りはずしたときと逆の要領で取り付けてください。	
2. トッププレートの取り付け ①機器本体後部に止めてあるトッププレート固定用ネジ（2本）をはずしてください。 （このネジは④で使用します。） ②トッププレートの後部を浮かしながら、機器本体前部ツメとトッププレート裏面ツメをひっかけ、トッププレート後部の穴と機器本体のネジ止め用の穴位置をあわせるように挿入してください。 ※トッププレートを取り付ける前に、機器本体周囲のシールパッキンがはずれていないか確認してください。 ③機器本体に仮固定されているトッププレート固定板のネジ（左右2ヶ所）をゆるめ、固定板を回転させ、トッププレートにひっかけてからネジを締めて固定してください。 ※トッププレート開口部のフチに合うように角度を調整してください。角度があっていないと、しる受けがトッププレート固定板にあたり、浮き上がります。 ④①をはずしたトッププレート固定用ネジでトッププレートを機器本体後部で固定してください。 ※トッププレートの取り付けは確実にいき、浮きがないことを確認してください。 ※シールパッキンの出代が左右均一であることを確認してください。 必ずトッププレート固定板を使用してください。 使用しなかった場合、トッププレートの反り、浮き、変形の原因になります。 ネジをゆるめたり、締めつける際には手動ドライバーを使用してください。 電動ドライバーではネジが利かなくなります。	 □ トッププレート固定板のひっかけ方 ○：良い例 ×：悪い例 トッププレート開口部のフチ トッププレート開口部のフチ トッププレート固定板 トッププレート固定板

3. ごとく・グリル排気口カバー・バーナーキャップ・しる受けの取り付け

- バーナーキャップ取り付け後(下記参照)、ごとく・しる受け・グリル排気口カバーを正しく取り付けてください。

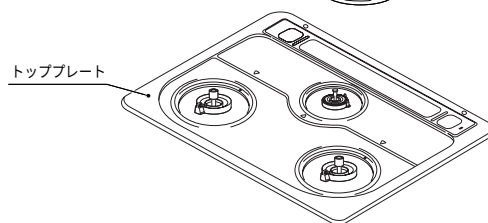
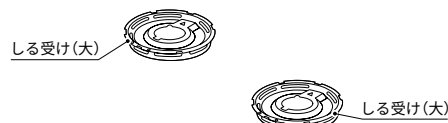
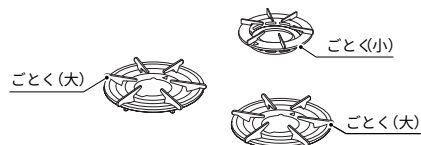
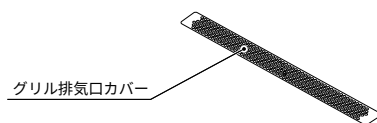
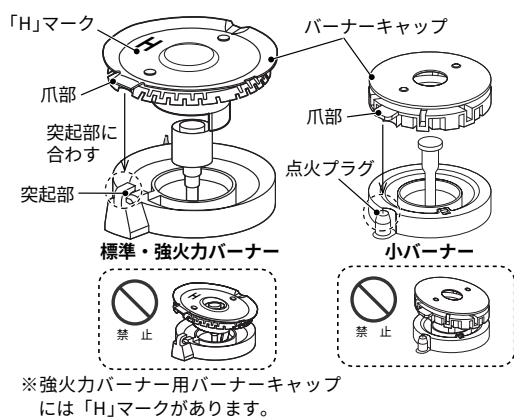
詳細は取扱説明書を参照してください。

バーナーキャップの取り付けかた

- 図のようにバーナーキャップの爪部が突起部(小バーナーの場合は、点火プラグ)の真上にくるように合わせて、バーナーキャップを取り付けてください。バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないかを確認してください。

⚠ 注意

- バーナーキャップを正しく取り付ける。
バーナーキャップを正しく取り付けなかった場合、点火しなかったり炎が不均一になり、異常燃焼や部品が焼損、変形するおそれがあります。



4. 乾電池の取り付け

アルカリ乾電池(単1形: 1.5V)を2個使用します。

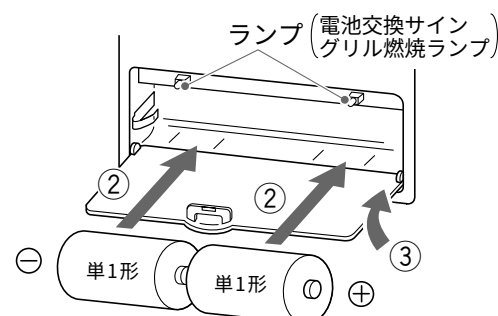
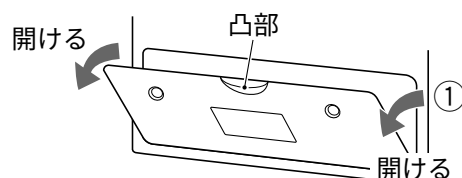
- 乾電池の寿命は、およそ1年がめやすです。
(付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自然放電のため、寿命が短くなっている場合があります。)

乾電池の取付手順

- ①電池ケースふた上部の凸部を指でひっかけて矢印の方向に開ける。
 - ②乾電池2個を、図のように矢印方向に従って電池ケースに組み込んでください。
 - ③電池ケースふたを元に戻してください。
- ※乾電池を取りはずすときは、上記要領で乾電池2個を取りはずしてください。

お願い

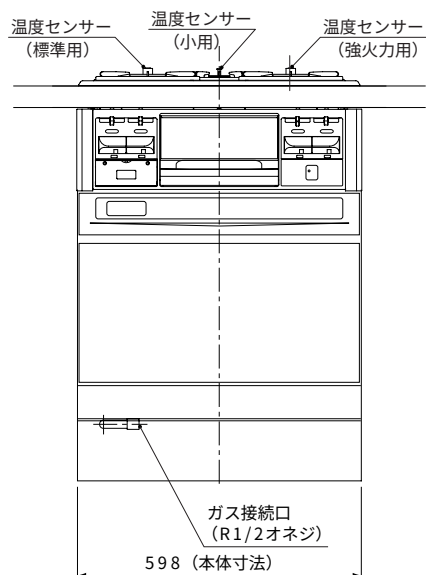
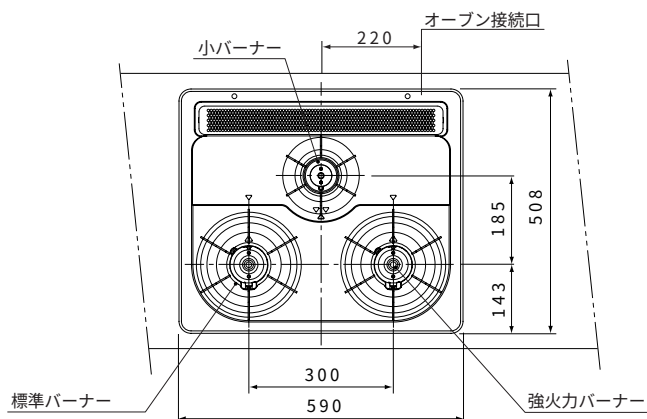
- 乾電池を交換するときは古いものを混せて使用しない。乾電池の寿命が短くなったり、液漏れする原因になります。
- 乾電池の⊕⊖方向は間違えないでください。点火できなくなります。
- 電池ケースに水などの異物が入った場合、ふき取ってください。電池機能不良の原因となります。
- 電池ケースふたは水平まで開きます。それ以上は無理に開かないでください。ふたが破損する原因になります。
- ランプには触れないよう注意してください。無理な力が加わると、ランプがつかなくなったり、ふたが閉まらないなどの原因になります。



◎ガス3口コンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置

- オーブンのタイプは、ワークトップ穴あけ寸法に関係なく、A+37仕様(Vタイプ)になります。オーブンの仕様を確認のうえ設置してください。詳しくはオーブン側の「設置工事説明書」を参照してください。

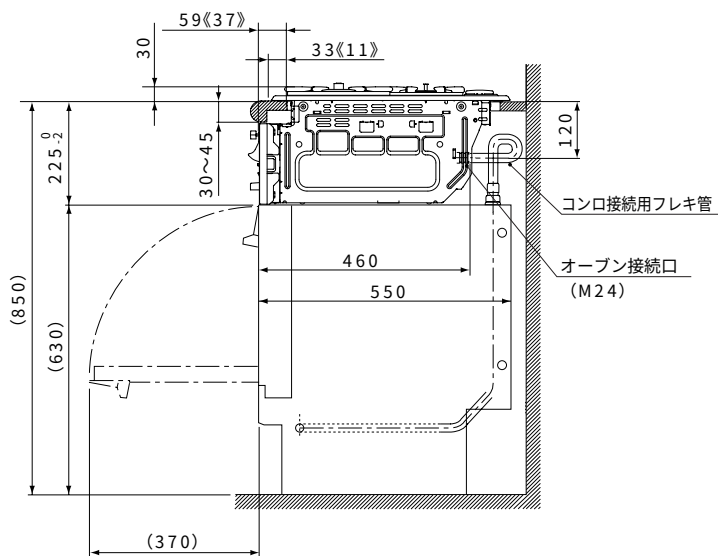
[標準設置図・機器寸法図]



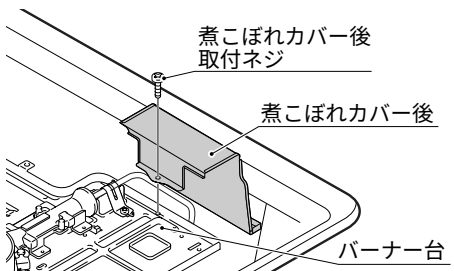
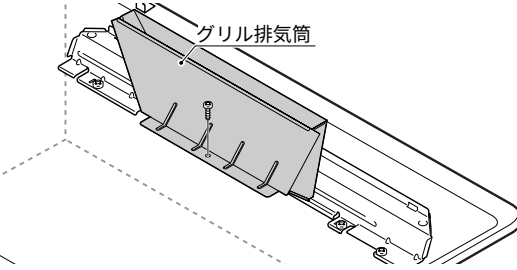
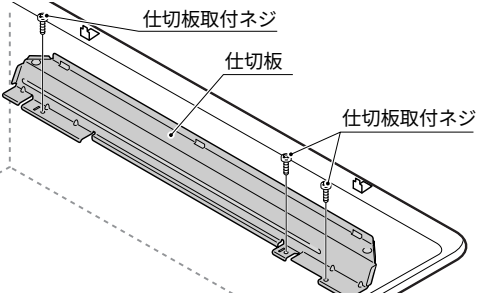
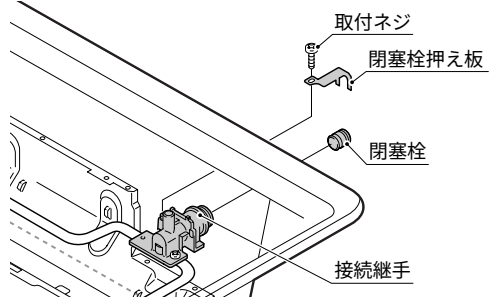
※《 》内の寸法はA+37設置寸法です。

※オーブン設置寸法は、オーブン側の「設置工事説明書」を参照してください。

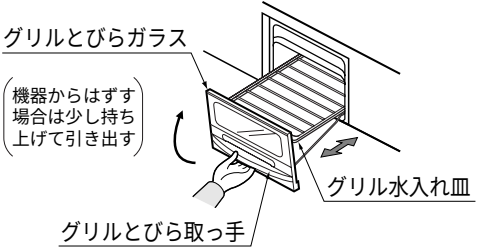
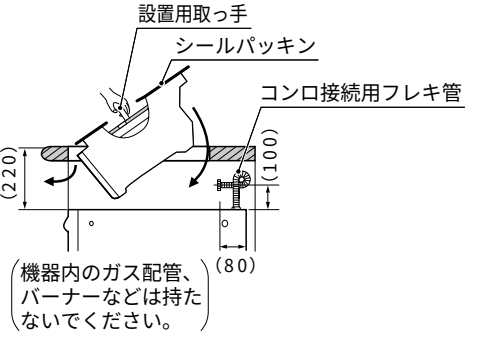
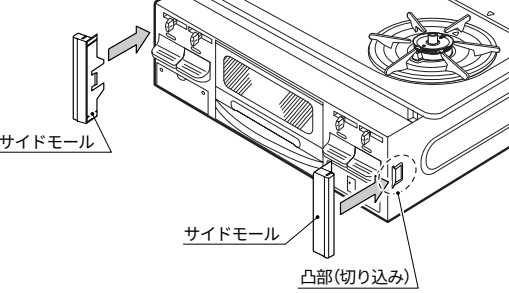
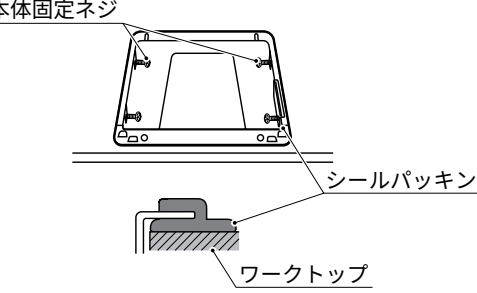
<単位：mm>

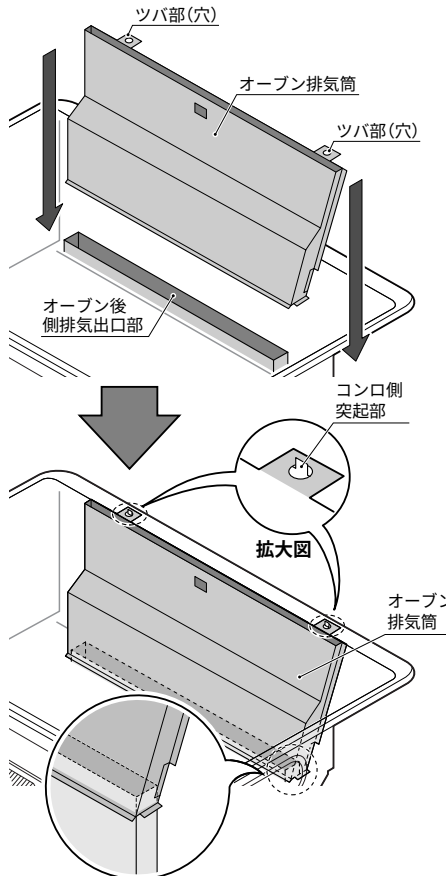
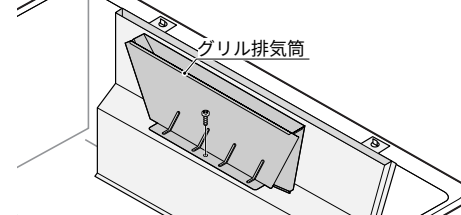
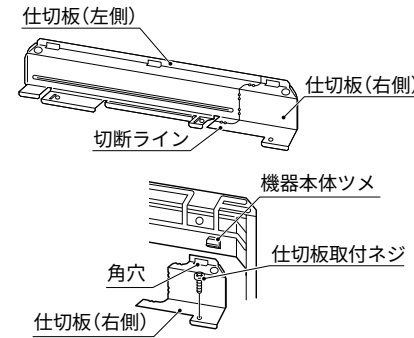
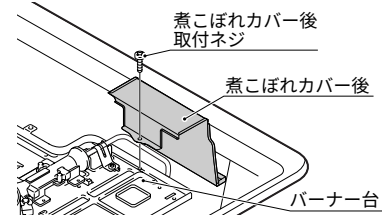


[取り付け前の準備]

作 業 手 順	説 明 図
1. ビルトイン形ガスオーブンが設置されていることを確認する	
2. 煮こぼれカバー後の取りはずし 煮こぼれカバー後 (ネジ1本) を取りはずしてください。 取りはずした煮こぼれカバー後・ネジはガス接続工事後、再度使用します。 ※煮こぼれカバー後は、強火力バーナー側に取り付けてあります。	 煮こぼれカバー後 取付ネジ 煮こぼれカバー後 バーナー台
3. グリル排気筒の取りはずし グリル排気筒 (ネジ1本) を取りはずしてください。 取りはずしたグリル排気筒・ネジはガス接続工事後、再度使用します。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	 グリル排気筒
4. 仕切板の取りはずし 仕切板 (ネジ3本) を取りはずしてください。 取りはずした仕切板・ネジはガス接続工事後、再度使用します。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	 仕切板取付ネジ 仕切板 仕切板取付ネジ
5. 閉塞栓の取りはずし - 閉塞栓押え板 (ネジ1本) を取りはずしてください。 - 閉塞栓を後方へ引き抜いてください。 取りはずした閉塞栓、閉塞栓押え板、取付ネジは不要です。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	 取付ネジ 閉塞栓押え板 閉塞栓 接続継手
6. ビルトイン形ガスオーブンの作業	この作業はビルトイン形ガスオーブン側に付属されている「設置工事説明書」を参照して行ってください。

[ビルトインコンロとビルトイン形ガスオープンの組み合わせ作業]

作 業 手 順	説 明 図
1. グリル水入れ皿の取りはずし ● 機器のタイプによってはグリルとびら取っ手が上・下しないタイプと上・下するタイプがあります。 ● グリルとびら取っ手が上・下しないタイプは、グリル水入れ皿がグリルとびら取っ手と一体式となっています。 ● 右図のように取っ手を持ち、少し持ち上げるようにして引き出してください。	
2. コンロ機器本体のはめ込み ● 機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ● ガス配管やバーナーなどを持たないでください。ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 ● はめ込み時はパネルなどをキズつけないようにしてください。 ● 機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取りはずさないでください。 コンロをはめ込む前に、オープン側のコンロ接続用フレキ管を右図のような形状・寸法に曲げてください。	
3. サイドモールの取り付け ● サイドモールをパネル両サイドの凸部(切り込み)にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。	
4. コンロ機器本体の固定 ● 機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ(4本)でワークトップに固定してください。 ● 機器前面とオープン前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。 ● 機器周囲に取り付けてあるシールパッキンがはずれたりしていないか確認してください。はずれたり、かみ込んでいたりしている場合は図のようにワークトップに密着するように確実に取り付けてください。	
5. オープンとコンロのガス接続 ● オープン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管をコンロ側の接続口と接続してください。	接続の方法は、14ページ（ビルトインコンロとビルトイン形ガスオープンとの接続方法）を参照してください。

作業手順	説明図
6. オープン排気筒（オープン側の付属部品）の取り付け オープン排気筒上部のツバ部（穴）をコンロ側突起部に差し込みながら、オープン後側の排気出口に確実に差し込んでください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	
7. グリル排気筒の取り付け 元通りにグリル排気筒（ネジ1本）を取り付けてください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	
8. 仕切板（右側部）の取り付け - 仕切板の切断ラインに沿ってニッパーで切り取ってください。 - 仕切板（右側部）の上部角穴を機器本体のツメに差し込んで（ネジ1本）取り付けてください。 切り取った仕切板（左側部）は不要です。	
9. 煮こぼれカバー後の取り付け 元通り（強火力バーナー側）に、煮こぼれカバー後（ネジ1本）を取り付けてください。	

[部品の取り付け]

作業手順	説明図
1. グリルとびら・トッププレート・しる受け・バーナーキャップ・ごとく・グリル排気口カバー・乾電池の取り付け	取り付け方法は、8～9ページ（[部品の取り付け]）の項を参照してください。

7 ガス接続・配管工事

■ガス接続工事

◎ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンとの接続方法（コンロ接続用フレキ管）

⚠ 注意

- 接続用フレキ管にOリングがついていることを必ず確認する。
※万一、なくなった場合やキズついた場合は、オーブン側に予備用としてOリングが入っていますので使用してください。
- Oリングは複数個入れない。
- 接続用フレキ管は斜めに挿入しない。
※斜めに挿入するとOリングがキズついたり、かみ込んだりしますので、必ず平行に挿入してください。
- 固定金具のスリット穴の中に接続継手と接続用フレキ管ナットのツバ部が入っていることを必ず確認する。
- 接続用フレキ管は、ねじったり、繰り返し曲げたり、衝撃を与えたりしない。
ガス漏れの原因になります。

作 業 手 順	説 明 図
■接続部の構造	
1. オーブン側に組み付けてある接続用フレキ管のナット部を⇨方向へ移動させてください。	
2. 挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入してください。	
3. 手始めで接続用フレキ管のナットを回し、ナットのツバ部と接続継手のツバ部が合うまでしめ込んでください。	
4. ナットと接続継手の両方のツバ部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込んでください。	

■ガス配管工事

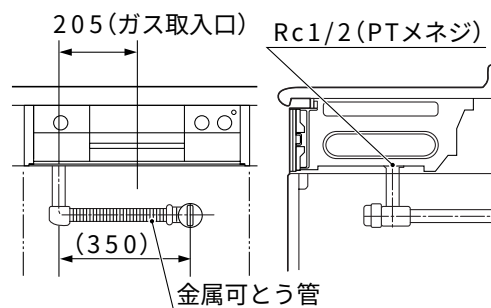
- ◎機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない（位置・口径）場合は、新設または交換をしてください。

◎ガス接続方法

[ガス3口コンロ単体で設置する場合]

- ガス接続は金属管または金属可とう管を使用してください。
- ガス接続はRc1/2 (PTメネジ) です。

標準配管接続例



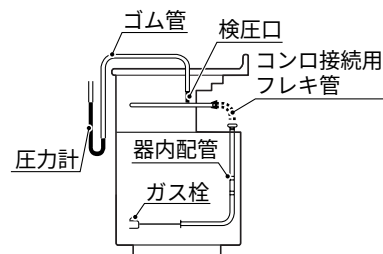
[ガス3口コンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合]

- ガス接続口、配管工事は、オーブン側の「設置工事説明書」を参照してください。

◎工事後のガス漏れ確認

[機器のガス接続が完了している場合]

- 検圧口（コンロとオーブンをセットで設置した場合は、オーブンまたはコンロの検圧口）に圧力計を接続し、ガス栓を開いて一旦ガス圧を加えた後、ガス栓を閉じて圧力計の指示が下がらないことを確認してください。



[機器のガス接続ができていない場合]

- 検圧口に接続したゴム管から空気を吹き込み、圧力が逃げないようにゴム管を圧力計につなぎ替えて、圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

[ガス漏れ確認終了後]

- 検圧口ネジは確実に取り付けてください。
- ガス3口コンロ側で検圧した場合は、必ず付属のアルミパッキンと取り替えてください。

8 設置工事後の点検確認

●チェックリスト

点検項目		点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器およびその周辺	ガ ス 種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	4	
	同 こ ん 部 品	正しく取り付けられていますか。また、不足はありませんか。	2・8～9	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	5	
	設 置 条 件	障害物などとの離隔距離は十分ですか。	5	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	4	
	水 平 設 置	水平に設置されていますか。	4	
	安 定 設 置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	4	
	シ ー ル パ ッ キ ン	機器周囲に確実に取り付けられていますか。また、すき間はないですか。	7・12	
	給 排 気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	4	
ガス接続・配管工事		接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	14・15	
ラ ベ ル 貼 付		接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けましたか。		
そ の 他		グリル・オープン庫内に同こん物が残っていませんか。		

9 試運転

1. 取扱説明書の「点火・消火のしかた」に基づいて試運転を行ってください。
2. 試運転終了後また、長期間使用しないときはガス栓を閉じ電池を抜いておいてください。

10 お客様への取扱説明

1. 取扱説明書に従って、お客様に機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。
2. 保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡ししてください。